

# 2 誰もが住みやすいまちの実現を目指して

高い評価って、どれくらいなんだろう？ (→ p.4)

共働き子育てしやすい街  
(2024)  
**第2位**

※日経woman×日本経済新聞社  
「自治体の子育て支援制度に関する調査」(2024年度版)  
「共働き子育てしやすい街ランキング」より

住みたい街  
(2024)  
**第4位**

※大東建託株式会社  
「いい部屋ネット 住みたい街ランキング2024」北関東版より

住みよさ  
(2023)  
**第3位**

※東洋経済新聞社「都市データバック」(2023年版)より

財政健全度  
(2023)  
**第2位**

※東洋経済新聞社「都市データバック」(2023年版)より



# 1 絆を深め、共に支え合う 地域共生社会の実現

「宇都宮の歌」にもあるように、宇都宮市は、日本最大の関東平野と雄大な日光連山の境界に位置し、良質で豊かな水源や安定した台地などの恵まれた自然環境に支えられ、古代から人々が行き交う、住みやすいまちとして栄えてきました。

現在、隣接する東京大都市圏とは、生活や文化、人口、産業、交通や通信などの結びつきを強めています。また、新しい交通網の整備などにより、北関東の拠点、県都として発展を続け、「住んで良し、働いて良し」の持続可能な都市として高く評価されています。

## 「宮っこを守り・育てる都市宣言」

宮っこはいつの時代もうちの宝  
みんなで守り、育てます。

- 1 こどもが個人として尊重され、こどもの今とこれからにとって最もよいことをこどもと一緒に考え、その実現に取り組みます。
- 2 こどもが夢や希望にあふれ、心豊かに成長できる環境づくりに取り組みます。
- 3 すべての家庭が、安心してこどもを産み育てることができる環境づくりに取り組みます
- 4 地域社会が、こどもを温かく見守り、安全・安心の確保や一人ひとりに合った支援に取り組みます。



## イノベーションmiyaユース会議事業

宇都宮市に住み、通う子ども・若者が、本市のまちづくりに関して意見を表明する機会を確保するため、「イノベーションmiyaユース会議事業」を実施しています。毎年テーマを設定した上で、そのテーマに対してアンケートや会議等により、子ども・若者の皆さんから意見をいただき、それらの意見を適切に反映することで、本市の施策事業の充実を図ることを目的としています。



問合せ先 子ども政策課 企画調査グループ  
TEL 632-2342

## ▶子育てにやさしいまち うつのみや

宇都宮市が、持続的に発展を続けるためには、人口減少対策により、将来に渡ってまちの活力を維持し続けることが重要です。そこで、宇都宮市では、「少子化対策」と「移住定住対策」に最優先に取り組み、宇都宮市に住みたい、住み続けたいという人々の願いを実現するために、どのような支援を行っているのか、調べてみましょう。

### 1 人権が擁護される社会の実現を目指して

誰もが生涯に渡って、個人の能力を發揮し、夢や希望をかなえることができる社会を築くためには、一人一人が、かけがえのない存在として尊重されなければなりません。

2024(令和6)年2月、宇都宮市では、子どもは「守られるもの」であると同時に、「自ら育つもの」と考え、今を生きる、未来を生きるすべての子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望をもって心身ともに健全に成長できるまちの実現に向けて、「宮っこを守り・育てる都市宣言」を制定しました。ここでは、**子どもの権利条約の4つの原則**をもとに、家庭や地域、学校や行政、企業に期待される役割が示されています。私たちも、自らのもつ権利について知ったり、身の回りのいろいろな偏見などに気づいたりすることが大切です。宇都宮市の人権に関する取り組みについて調べてみましょう。

## 2 妊娠、出産、子育てにおいて切れ目のないサポートを実施

本市では、こども医療費の助成による18歳までの医療費無償化をはじめ、新婚夫婦の住宅費用等の支援、妊産婦への医療費の助成、不妊治療費への助成など、独自の取り組みにより、全国トップクラスの子育て支援を実施しています。

## ▶共に支え合うまち うつのみや

### 1 みんなで支え合う高齢社会

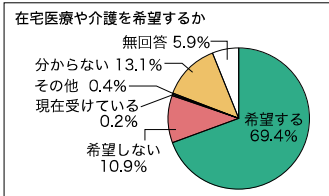
介護が必要とならないようにするためには、元気なうちから意識して、運動や他者との交流などを続けていくことが大切です。

宇都宮市では、高齢者一人一人が楽しみながら介護予防に取り組める事業の一つとして、宇都宮市にある3つのプロスポーツチームの選手などと交流しながらストレッチ体操などを行う「いきいき健康教室」を実施しています。

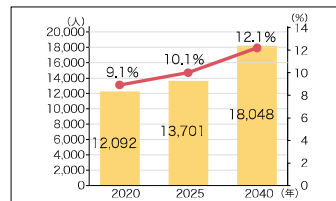
### 2 みんなで認知症の人を支える

宇都宮市では、認知症の人やその家族が気軽に集まれて、相談し合える「オレンジサロン」を市内6か所に設置しています。

オレンジサロンでは、認知症の人やその家族のほか、地域のボランティアと一緒にカフェを運営したり、音楽会を開催したりしています。また、「認知症サポーター養成講座」を実施し、より多くの人が認知症について理解し、本人の気持ちや希望に寄り添うことで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現を目指しています。



↑ 在宅医療や介護についてのアンケート  
出典：「高齢期市民アンケート調査」



↑ 市内の認知症高齢者数と65歳以上人口に対する比率  
出典：「宇都宮市にっり安心プラン」



↑ いきいき健康教室



↑ オレンジサロン

## 子どもの権利条約

子どもの権利条約の基本的な考え方は、次の4つで表されます。これらは、日本の子どもに関する基本的な法律である「こども基本法」にも取り入れられています。

- 差別の禁止(差別のないこと)  
全ての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定める全ての権利が保障されます。
- 子どもの最善の利益(子どもにとって最もよいこと)  
子どもに関することが決められ、行われるときは、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。
- 生命、生存および発達に対する権利(命を守られ成長できること)  
全ての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。
- 子どもの意見の尊重(子どもが意味のある参加ができること)  
子どもは自分に関係のある事からについて自由に意見を表すことができ、大人はその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します。



## 学習問題

誰もが住みやすいまちを実現するために、宇都宮市ではどんな取り組みをしているのだろう。



◆多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと。



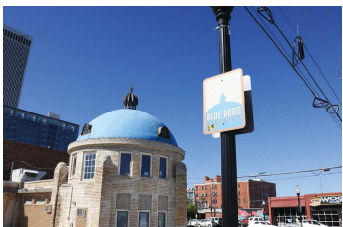
↑ ① いろいろな国の人々との交流会



↑ ② 「フェイスブック」での情報発信



↑ ③ 英語の観光用パンフレット



↑ ④ タルサapurブルードーム

▶多文化が共生する宇都宮のまちづくり

日本では、国内の少子高齢化などによる労働力不足に対応するため、外国人の労働者の受け入れを進めています。

このことにより、宇都宮市でも外国人市民が急増しており、今後も増え続けることが予想されます。そのため、近所や学校、職場など様々な場所で外国人市民と日本人市民が互いを尊重し合い、安心して暮らし続ける「多文化共生」のまちづくりを進めていくことが重要です。

1 多文化共生の地域づくり

宇都宮市では、日本人市民向けに、国際理解に関する講座やイベントなどを開催し、多文化共生の意識の向上を図っています。外国人市民向けには、外国語で行政サービスを行ったり、外国人市民の生活に必要な地域の情報の提供を行ったりしています。また、生活の不安や困ったことへの相談も行っています。



「うつのみや表参道スクエア5階にある「国際交流プラザ」では、外国人市民の相談にのっているよ。外国人市民は、どんなことに困っているのかな? → p.136

2 外国人観光客への対応

宇都宮市では、増加傾向にある外国人観光客が困らないように、いろいろな言語に対応したパンフレットや看板を設置しています。また、宇都宮市観光案内所や市内のホテルなどでは、外国人観光客に対して丁寧な対応をし、観光客のニーズに応えています。



外国人観光客に対して、どんなことに気をつけて対応しているのだろう? → p.137

3 姉妹・文化友好都市の提携による国際理解と交流

宇都宮市では、国際理解・交流の推進を図るため、各都市と姉妹都市等の関係を築き、文化やスポーツなどの交流を深めています。

▶市民が協働するまち うつのみや

地域社会の中で暮らしている私たちは、市全体の発展によりもたらされる恩恵や、市全体が被る自然災害などの影響と無関係でいることはできません。人口減少やライフスタイルの多様化などが見られる日本社会では、東日本大震災以降、防災やまちづくりへの住民参加の必要性がますます高まっています。例えば、日本は自然が豊かな国ですが、地震や集中豪雨などの自然災害の備えが求められているので、住民自身による地域の運営や、日頃の関係づくりが重要です。宇都宮市でも、自治会や非営利組織(NPO)、ボランティアなどが協力しながら、まちづくりに参画しています。地域の行事に参加することも住民参加の方法の一つです。次の事例を手がかりに、自分が設定した課題に必要な情報を集めていきましょう。

1 自治会の持続と活動の活性化に向けて

自治会は、防犯・防災、環境美化、福祉など、地域の安全・安心な暮らしを維持する上で、重要な役割を担っています。しかし、近年では自治会に加入しない人も増え、活動の存続が課題となっています。そこで、宇都宮市では2025(令和7)年4月に「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」を施行し、自治会の魅力を高める取り組みや、加入する人を増やす取り組みなどを進めています。



地域の自治会は、私たちの学校生活とも関係しているのかな?

2 田んぼダムの普及促進

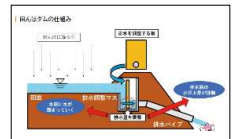
宇都宮市では、2019(令和元)年台風19号によって大きな被害を受けました。市街地にある小学校でも浸水被害がありました。そのため、「総合治水・雨水対策推進計画」を定め水害に強いまちづくりに取り組んでいます。その一つに、田んぼダムがあります。浸水被害が大きかった地域の減災のため、上流の水田に雨水を一時貯めて、河川への流出量を抑制する装置です。これは、下流の人たちの生活が、上流の農地所有者や耕作者の協力によって守られる取り組みです。



見えていないことが、まだまだありそうだね。身近な地域では、どのような助け合いが行われているんだろう?



↑ ⑤ 宇都宮市地域で支え合う自治会条例



↑ ⑥ 田んぼダム

まとめる ひろげる



人口減少や少子高齢化の進行、グローバル化などに対応して、宇都宮市では、女性や高齢者、障がい者や外国人を含めて、ライフスタイルやライフコースが異なる誰もが健康で自立した生活を送り、多様性を認め合いながら、あらゆる場面で活躍できるような取り組みを行っています。

地域の課題の解決に、中学生が参加できる機会も増えているので、調べてみましょう。

# 宇都宮の子育てについて詳しく調べてみよう！

## これからの時代の子育て

少子高齢化、人口減少社会が到来している現代において、市の人口も今後減少していくことが予想されています。

そのような中、核家族化や共働き世帯の増加、地域との関わりの希薄化などの社会環境の変化に伴い、育児への不安を抱えている人は少なくありません。これまで以上に、子育ての環境に対する適切なサポートが必要な時代になってきています。



少子高齢化の中で、市はどのようなことを考えているのだろう。サポートの内容から考えてみよう。

## さまざまな支援

宇都宮市が「子育てしやすい」といわれる理由に、充実した様々なサポートがあるということが挙げられます。生後すぐから、保育園入園など様々な状況での支援が充実しています。

サポートが充実していれば、安心して暮らせるね。

宮っこ子育て応援ナビにはたくさんの情報が載っているよ。調べてみよう！



## 宮っこ子育て 応援ナビ

宇都宮市の子育て施設や事業に関する情報を、分かりやすく、利用しやすいようにまとめた子育て情報総合サイトです。様々な制度や手続きの方法、イベント情報や施設の情報など、子育てに関する多くの情報を掲載しています。



ここが、すごいぞ！

## 宇都宮の子育て支援

宇都宮市は「共働き子育てしやすい街ランキング」で5年連続で全国トップ5に入っているんだよ\*。

\*「日経XWOMAN」×日本経済新聞社「共働きしやすい街ランキング」20万人以上の都市  
2025：総合編第4位、2024：総合編第2位、2023：総合編第2位、  
2022：総合編第5位、2021：総合編第2位

**1 不妊治療費の助成**  
子どもを望む夫婦に対し、体外受精などの不妊治療を助成します。

**Point** 初回 上限額 45万円  
2回目以降 上限額 30万円

**2 妊産婦医療費助成**  
母親が病気やけがなどで治療を受けた場合の負担額を助成します。

**Point** 助成期間を1か月延長し、妊娠期から出産した翌々月までの負担分を助成します。

**4 産後ケア・産後サポート**  
産後2週間及び産後1か月の全ての産婦を対象に、産婦健診の費用を助成します。また、産後ケアや産後サポートを実施します。

**Point** 産後ケアでは、母親の休養の時間を確保したり、助産師による授乳指導を行ったりします。産後サポートでは、助産師等が自宅を訪問し、不安や悩みなどの相談にのるなどの支援をします。

**6 保育園に入りやすいまち**  
これまで第3子以降が対象だった全額補助を令和6年4月から第2子以降に拡大しました。

**Point** これまで第3子以降が対象だった保育料の無償化を令和6年4月から第2子以降に拡大しました。

**8 宮っこの居場所**  
子どもたちが行きたい時に気軽に行けて、地域の大人の見守りのもと、自由に遊んだり、宿題をしながら、安心して過ごすことができる場所です。

**Point** ・「子どもの居場所」は小中高であれば誰でも自由に利用できます。  
・「親と子どもの居場所」は子どもと一緒に保護者も利用でき、子育ての悩み相談ができます。

**産前** **0歳**

**1歳** **2歳**

**3歳** **4歳**

**5歳** **6歳～**

**3 こども医療費助成**  
満18歳到達の年度末までの子どもを対象に、病気やけがで治療を受けた場合の医療費を助成します。

**Point** 対象の子どもは、窓口負担0円で治療を受けられます。  
※健康保険が適用になる医療費が対象

**5 宮っこ子育てコンシェル**  
宇都宮市内の子育てサロン7か所に、「宮っこ子育てコンシェル」を配置しています。

**Point** 幼稚園や保育所、認定子ども園や一時預かりの子育て支援事業の中から、最適なものを選ぶよう、相談に乗ったり情報提供したりしています。

**7 病児保育の充実**  
子どもが保育園や小学校などに登園・登校できない場合、保護者の代わりに昼間の間、専用施設に預けることができます。

**Point** 病児保育送迎対応も行われています。保育園で体調不良となった子どもを、保護者に代わって迎えに行き、病児保育施設で預かることもできます。

**9 ファミリーサポートセンター**  
子育てを援助したい人と、援助されたい人がお互いに助け合う、地域で子育てを援助していくための会員組織があります。

**一時預かり事業**  
生後6か月から小学校就学前までの子どもを預かります。

**Point** これまで第3子以降が対象だった全額補助を令和6年4月から第2子以降に拡大しました。

※掲載情報は、2025年4月1日現在のものです。

3 未来へ羽ばたく宇都宮 2 誰もが住みやすいまちの実現を目指して

詳しく調べてみよう！



## 地域包括ケアシステム

今後、少子高齢化がますます進行する中、年をとっても、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにすることは、とても大切なことです。

宇都宮市では、医療・介護などの公的サービス、地域の見守り、健康づくりなど、みんなが各々の役割を

担いながら、地域全体が高齢者に対する支援を一体的に提供する仕組みである「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて取り組んでいます。

これを実現するため、宇都宮市では、次の七つの取り組みを行っています。

### 宇都宮市の地域包括ケアシステム

高齢者が、医療や介護などの支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちをつくること



- ※1 高齢者の相談窓口である「地域包括支援センター」や、医療・介護、地域などの「関係機関等」、「行政」が連携し、①～⑦の取り組みを支援します。
- ※2 高齢者が安心して身近な地域で生活できるよう、スーパーや医療機関などの生活に必要な施設が集積や、公共交通ネットワークの充実などを図るコンパクトなまちづくり (NCC) を地域包括ケアシステムと併せて進めます。



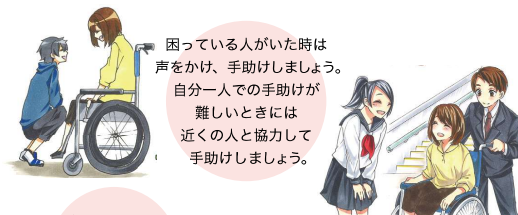
皆さんも、身近な高齢者を支える方法を考えてみましょう！

## 日常の中で思いやりを大切にする、こころのユニバーサルデザイン

### 1 こころのユニバーサルデザイン運動

「ユニバーサルデザイン」とは、「全ての人のためのデザイン」を意味し、文化や言語、年齢や性別などの差異、障がいの有無・能力に関わらず、多くの人々が利用しやすい製品や施設、環境をデザインする考え方で。

宇都宮市では、こうした考え方は、デザインや施設の整備などだけでなく、一人一人の理解や思いやりが大切であるとし、「こころのユニバーサルデザイン運動」を推進しています。この運動によって、一人一人に、やさしさや思いやりの気持ちを育てていくことが目指されています。



### 2 やさしさを育む様々なマーク

誰もが安心して暮らせるように、周囲の人にサポートをお願いする様々なマークが作られています。このマークを付けている人を見かけたら、皆さんでサポートしましょう。

#### 合理的配慮をこころがけましょう

合理的配慮とは、障がいのある人が配慮を求める場合に、無理のない範囲で必要の対応を行うことです。例えば、車いすの人が乗り物に乗る時に手助けをしたり、聴覚障がいがある人に声ではなく紙に書いて伝えたりすることです。

#### 思いやりを大切に

##### 適正に利用しよう

車いすを使っている人や、体の不自由な人のための駐車スペースは、適正に利用しましょう。



思いやりのある行動を  
障がいのある人などが持っているヘルプマークやヘルプカードを見かけたら、声かけや適切な支援を行うなど、思いやりのある行動をお願いします。

#### 様々なマーク



障がい者のための国際シンボルマーク



身体障がい者標識 (障がい者マーク)  
肢体不自由であること、理由に免許に条件を付された人が運転する車に表示するマーク



視覚障がい者のための国際シンボルマーク  
視覚障がいを示す世界共通のシンボルマーク



ほじょ犬マーク  
身体障がい者補助犬 (盲導犬・介助犬、聴導犬) 同伴の啓発マーク



聴覚障がい者シンボルマーク (国際マーク)  
聴覚障がいを示す世界共通のシンボルマーク



耳マーク  
聞こえが不自由なことを表す国内で使用されているマーク



聴覚障がい者標識 (聴覚障がい者マーク)  
聴覚障がい者の方が運転する車に表示が義務付けられたマーク



オストメイトマーク  
人工肛門・膀胱 (ストーマ) を使用している人 (オストメイト) のための設備があることを表すマーク



ハートプラスマーク  
身体内部 (心臓・免疫機能など) に障がいのある人を表すマーク



マタニティマーク  
妊産婦であることを表すマーク



ベピーカーマーク  
ベピーカーが利用できる施設などであることを表示するマーク

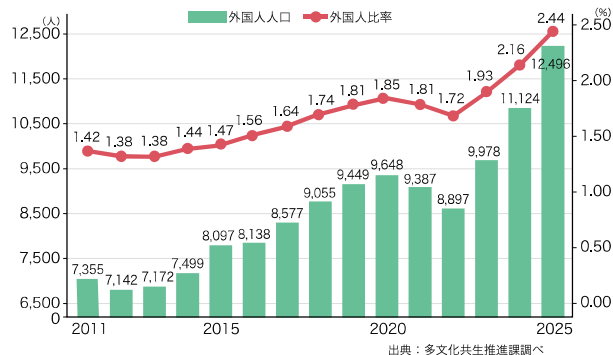


介護マーク  
介護中であることを周囲に理解してもらうためのマーク



## 宇都宮市に住む外国人市民の現状

### ① 市内外国人市民数の推移



### ② 国籍別外国人人口

各年3月末日現在  
令和7年

国名	合計	全外国人市民に対する割合(%)	世帯数
中国	2,676	21.41%	1,982
ベトナム	1,907	15.26%	1,518
ネパール	1,179	9.44%	937
フィリピン	897	7.18%	745
韓国	887	7.10%	721
その他	4,950	39.61%	4,076
合計	12,496		9,979

令和6年

国名	合計	全外国人住民に対する割合(%)	世帯数
中国	2,520	25.65%	1,871
ベトナム	1,700	15.28%	1,398
韓国	874	7.86%	710
フィリピン	873	7.85%	724
ネパール	809	7.27%	629
その他	4,348	39.09%	3,516
合計	11,124		8,848

## 共に生きるためのサポート

外国人市民が、共に安心して生活するために、宇都宮市では様々なサポートをしています。日本語がよく分からなくても、快適に過ごすことができるようにしていくことが重要です。

これらがあれば、ものも時も、安心して行動することができますね。



↑①日本語がよく分からなくても、コミュニケーションをとることができるカードです。



## 文化の違いを越えて共に生きるために



ALT (外国語指導助手) ファリル・ロバートさん

— 言葉や文化が違うことで、大変だったことは何ですか？

私は、おしゃべりをすることが大好きだったので、それが少しできなくなったことがとてもつらかったです。自分の気持ちが伝わらないことは、とても大変でした。その時は、生徒の皆さんがあいさつをしてくれるだけでも、とてもうれしい気持ちになったのを覚えています。時々、教えた生徒が大人になって、声をかけてくれる時がありますが、その時はと

てもうれしい気持ちになります。

— 文化や言葉の違いを越えて共に生きるために必要なことは何ですか？

相手のことを考えて、「私ならこうしてほしい」と想像することで、相手の立場を理解し、その人の気持ちに寄り添うことが大切だと思います。日本人はとても優しく、素敵な笑顔をもっていて感じます。その良さを生かすことができるように、恥ずかしい気持ちを少し捨て、勇気をもって、相手とコミュニケーションすることができたらいいと思っています。

## 外国人市民が困ることは…



NPO法人 宇都宮市国際交流協会 石川アンナさん

— 外国人市民の方の相談内容で多いことは何ですか？

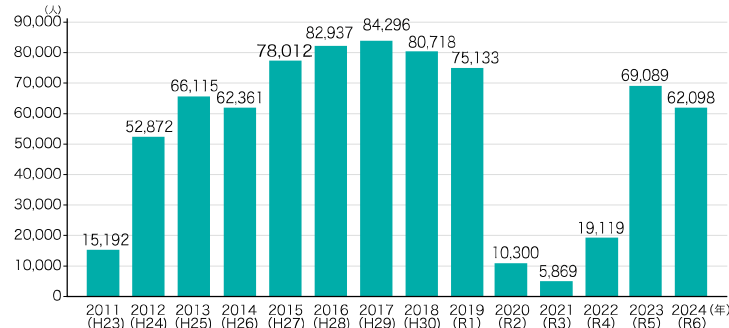
行政上の手続きに関するものが最も多くなっています。やはり、文字に関する壁は大きく、漢字圏の中国出身の方よりも、文字が全く異なるペルーやタイの出身の方が多く相談に来るといった傾向が見られます。行政上の手続きに関しては、適切なサポートが必要だと感じています。

— 外国人市民と一緒に生活する上でどんなことに気を配ればよいですか？

外国人市民の方は、「宇都宮は住みやすく、親切な人が多い」と話していて、宇都宮にとっても良い印象を持っているようです。日本独特の文化である敬語の使い方やゴミ出しなど、些細なことでもトラブルになることがありますので、日本の文化や習慣について、丁寧に教えてあげることが必要だと思います。また、外国人市民の方は、慣れない土地に来て、とても緊張しています。出来れば、日本人市民の方から声をかけてあげるといいと思います。

## 宇都宮市を訪れる外国人の現状

### ④ 外国人宿泊者数



※2020 (R2)以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に減少

### ⑤ 外国人宿泊者の出身国 (R6)

出身国	人数
1 中国	9,810
2 アメリカ	9,742
3 台湾	7,881
4 タイ	6,232
5 韓国	4,335

その他：タイ、ドイツ、インドネシアなど

## 宇都宮市観光案内所でのおもてなし ~言葉の壁を越えて~

JR宇都宮駅には、様々な国の外国人が訪れるようになっているため、多言語に対応するための看板やパンフレットが設置されています。

また、JR宇都宮駅にある宇都宮市観光案内所には、たくさん外国人が訪れており、2024 (令和6) 年度には、約4,500人が利用しています。特に、桜の開花頃とジャパンカップや3x3などの国際的なイベントがある秋頃に多くなるそうです。



清水祐子さん

案内所には、観光だけでなく仕事関係で訪れる人もいます。大切なことは、相手のことをよく見て、何を望んでいるかを考えて、お客様のニーズに応えることです。言葉は分からなくても、地図などの道具やボディランゲージを使えば、十分にコミュニケーションをとることができます。伝えようとする気持ちが大切ですね。



↑ ⑥ 駅構内の看板 ↑ ⑦ JRのパンフレット ↑ ⑧ 観光案内所 ↑ ⑨ 外国人への対応の様子

一番大切なのは、おもてなしの心と笑顔ですね。英語を学ぶことは大切ですが、中学校レベルの英語でも十分にコミュニケーションをとることができます。相手のことを思いやるおもてなしの気持ちがあれば、文化や言葉の壁を越えて、楽しい時間を過ごすことができると感じています。



阿久津幸子さん

## 姉妹都市 オークランド市 (ニュージーランド)

ニュージーランド北島に位置し、2010年11月に、旧マヌカウ市を含む、一つの広域自治体と七つの地域自治体が合併して誕生しました。合併により、ニュージーランド人口の3割以上を占める、ニュージーランド最大の都市となりました。ポリネシア系のマオリ人のほか、ヨーロッパ大陸からの移民など、150以上の民族が生活する多文化共生の町です。旧オークランド市は、三つの港に囲まれ、海上交通が栄えたことからシティ・オブ・セイルズ(帆の町)と親しまれてきました。旧マヌカウ市内のオークランド国際空港はニュージーランドの航空拠点であり、合併によりニュージーランドの交通・経済の中心の地位を不動のものとししました。一方で自然も豊かで、ハウラキ湾の海岸線には美しいビーチが散在するほか、波の少ない入り江や港はマリンスポーツを楽しむ人でにぎわい、ヨットレースなども行われます。市街地・田園地帯を問わず公園や森林保護区などが設置されており、自然の保護にも力を注いでいます。



↑ ④ タウンホール



↑ ① オークランド市 ↑ ② マオリのハカパフォーマンス

## 姉妹都市 オルレアン市 (フランス共和国)

フランス・サントル地方・ロワレ県の県都で、パリの南方約115kmに位置し、1337年に始まったイギリスとの百年戦争の時、フランスを救ったジャンヌ・ダルクの町として有名です。市の中心部のマルトロワ広場にシンボルのジャンヌ・ダルク騎馬像があり、東に歩くとい市庁舎のグローロー邸とサントクロワ大聖堂が中世の面影を残してそびえ立っています。グローロー邸は、来訪者のために開放されており、結婚式などの式典も行われています。市の中央にはフランス一長いロワール川がゆったりと流れ、周辺にはボース平野が広がり、古くから農産物の集積地としても栄えました。また、中部フランスの中核都市として商工業の発展も著しいです。17歳でフランスを救った国民的英雄「ジャンヌ・ダルク」を讃えるため、ジャンヌダルク祭が毎年4月下旬から5月上旬まで開催され、世界中から多くの観光客が集まります。ジャンヌ・ダルクはフランスの誇りであり、国内いたるところにジャンヌ・ダルクの絵や騎馬像が見られます。



↑ ⑥ ジャンヌダルク祭



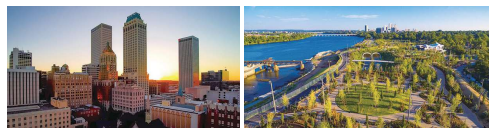
↑ ④ オルレアン市 ↑ ⑤ マルトロワ広場

## 姉妹都市 タルサ市 (アメリカ合衆国)

アメリカ・オクラホマ州第二の都市で、州都のオクラホマシティ市の北東約170kmに位置しています。大平原の中に広がる緑豊かな都市で、「四季のある街」とも呼ばれています。市の中心部の高層ビルの一角に市庁舎を構え、周辺はビジネスセンターとして機能しており、そのまわりには住宅街やショッピングセンターが整然と広がっています。1900年代初頭の石油発見により発展してきましたが、現在は化学工業・宇宙・航空機産業が盛んです。市内を流れるアーカンソー川流域は肥沃な農業地で、大規模農業による生産が行われています。市内にあるギルクリース博物館はネイティブアメリカンに関する取藏品では全米一を誇っています。



↑ ⑨ ゴールドレディー像



↑ ⑦ タルサ市 ↑ ⑧ ギャザリングプレイス

## 友好都市 チチハル (齊齊哈爾) 市 (中華人民共和国)

チチハル(齊齊哈爾)市は、黒竜江省、吉林省、内モンゴル自治区の三省区が交差する地点に位置し、東北地区北西部の地域中心都市です。齊齊哈爾の名の語源については、ダフル語の「天然の牧場」とする説があります。市の面積は約42,400km<sup>2</sup>、常住人口は約406.7万人で、1市8県7区を管轄しています。中国の重要な農業都市、工業都市で、近年では中国グリーン食品の都、中国生食用トウモロコシの都、中国の牛の都、国際焼肉グルメの都として評価されています。世界的に珍しい丹頂鶴が生息しており、「鶴城」とも称されています。特に、ザロン湿地は1992年に中国最初のラムサール条約湿地に登録され、現存する世界で知られている15種の鶴のうち6種が生息しており、「世界の大湿地、中国鶴の故郷」と称されています。また地域特有の文化が豊富で、漢族、満族、モンゴル族、ホイ族など48の民族がそれぞれ独自の文化を持っています。さらに70年のアイスホッケーの歴史を持ち、「アイスホッケーの城」として知られ、「アジア最優秀アイスホッケー都市」にも選ばれました。



↑ ① スケートを楽しむ子ども

↑ ② 水辺を飛ぶ鶴



↑ ⑩ チチハル市

## 文化友好都市 ピエトラサンタ市 (イタリア共和国)

イタリア中西部トスカーナ州ルッカ県の都市、ルネサンス発祥の地フィレンツェの西方約80kmに位置しています。ピサとジェノバを結ぶ主要な鉄道の沿線にある美しく静かな地方都市で、交通の要衝として重視されています。源泉は古代ローマ帝国にまで遡ることができ、1255年にルッカの行政官グイスカルド・ピエトラサンタが創建したことにちなみ、名称が定められました。独自の産業は天然大理石の採掘であり、16世紀にミケランジェロが、ピエトラサンタ市の大理石を使いダビデ像を作ったことは有名です。17世紀から19世紀の間、大理石資源、駐留軍隊、そして港湾貿易によって順調に発展を遂げ、現在は超一流の世界的彫刻家を輩出した町として有名です。市内には噴水や広場が点在し、教会収蔵の美術作品などが残されています。



↑ ⑩ ピエトラサンタ市教会



↑ ⑬ ピエトラサンタ市

## 友好都市 うるま市 (沖縄県)

うるま市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、「さんごの島」という意味をもつ沖縄の言葉「うるま」から名付けられました。コバルトブルーの海に囲まれた島々と美しい橋「あやはし」で結ばれ、「海」・「橋」・「空」が調和した「風光明媚」なまちです。世界遺産の勝連城跡をはじめ歴史的な遺産も点在し、エイサーや闘牛など沖縄の古からの文化や芸能が多く残っています。

2024(令和6)年8月に、国内都市では初となる友好都市の提携を結び、幅広い分野で連携交流事業を展開されています。2025年1月から、宮の原中学校とあげな中学校の生徒会によるオンライン交流が行われています。また、2025年8月には、友好都市提携1周年事業として、エイサーや肝心の阿麻和利などの伝統芸能が披露され、ふるさと宮まつりのパレードで、そのメンバーが練り歩くなど、うるま市の魅力が届けられました。



↑ ⑬ 宮の原中学校



↑ ⑬ 宮まつりでのパレード

↑ ⑭ うるま市